事例No.	2463
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	業組合　であい村　蔵ら

事例区分	地域活性化

タグ	・関係人口 ・地域運営組織 ・観光

事例種類	地域振興

事例内容・タイトル

夢の華咲かせます！～人も町も元気もりもりプロジェクト～

出典

令和元年度優良事例表彰一覧

静岡県松崎町

総務大臣賞

企業組合であい村蔵ら

夢の華咲かせます！
～人も町も元気もりもりプロジェクト～



企業組合 であい村 蔵らのメンバー。これまでの人生において培った経験や特技を強みとして生かし、各メンバーが得意な分野で活躍している。

事例の概要

企業組合であい村「蔵ら」は、郷土の偉人にゆかりのある古民家を活用して高齢者の憩いの居場所を創出することを主な目的に、地域住民が出資をして企業組合を組織し、活動を開始した。

松崎町は、かつて農林業や漁業が盛んであり、伝統的に自分達が使用する道具は自分たちで作るという風土がある。こうした風土を土台にして、「蔵ら」でしか食べられない地元食材を使った健康的なランチや、「蔵ら」に来なければ買えない商品を多く開発している。こうした活動の結果、「蔵ら」のファンが増加したことで経営の安定化に繋がるとともに、松崎町への観光客の増加にも貢献している。また、手芸といった高齢者が持つ経験や特技を生かして活躍する機会を提供することで、高齢者の生きがいづくりに寄与しているほか、クラウドファウンディングを活用して新たな特産品の開発にも取り組んでいる。



料理自慢のメンバーが腕を振るう地元食材を使った観光客にも人気のワンコイン昼膳。

評価のポイント

「蔵ら」は、高齢になった女性たちが生きがいを持って活動できる働き場所として、また、町内外の様々な人たちが集う居場所としても機能している。その運営には、当時過疎地域ではまだ珍しかったワーカーズ・コレクティブ方式を採用し、地域住民が共同出資し、収入から経費を差し引いた残りを給料として分配する対等な働き方が目指されている。

「蔵ら」のような女性活動グループの活動は他地域にも散見されるところだが、この取り組みに見出される突き抜けた特徴を３点挙げておきたい。

１点目は、今のように介護保険制度や地域包括ケアがまだ浸透していない2000年前後の時期に、「ものづくり介護」「働くデイサービス」「国から年金をもらって、町に恩返しを」というフレーズを掲げて、高齢女性たちと「蔵ら」の立ち上げに導いた先見性である。

２点目は、単なる趣味のレベルに留めず、活動が継続するよう、自分達の時給を500円にまで上げていくという目標を明確にして（現在は340円）、喜ばれるデザインや買いやすい値付けを心掛け、売れるものを作るよう心掛ける経営センスである。

これは絶えず新たな分野を開拓する意欲にもつながり、小石にイラストを貼ってデコパージュした「いづこいし」、着物を縫う技術を生かしたバービー人形用の和服のリメイクなど、身近な素材をメンバーの特技と掛け合わせて身近な素材をメンバーの特技と掛け合わせてオンリーワンの新たな商品を次々と生み出し、近年では、それを目指して「蔵ら」を訪れる客やインバウンドの外国人観光客にも訴求する品揃えになっている。

３点目は、「蔵ら」が町内外の結節点としての役割を次第に担うようになった点である。「蔵ら」の活動は食材や素材の提供をはじめ、町内の多くのつながりに支えられ、今日では、移住者や地域おこし協力隊、地元の高校生と交えた活動も生まれ、「蔵ら」の誘因力を生かして町の関係人口を広げていく挑戦も始まっている。

活動に携わる女性たちの世代交代も進む中、「蔵ら」での仲間との実践から育まれてきた「蔵らイズム」は着実に町内外に浸透しつつあり、それが松崎の誇りの元となる新たな「地域遺伝子」となって次世代につながっていくことを大いに期待したい。



古民家を改装した店内には和裁や手芸を得意とするメンバーの作品が多く並ぶ。作品の販売もしており、県内で人気のケーキ屋等でも使用されている。



高校生や高齢者、観光客が一緒に「いすこいし」等の小物づくりを体験するワークショップを実施。多様な主体の交流が生まれている。



クラウドファウンディングを活用し、新たな特産菓子を開発。あんには特産品の桜葉や桑葉を使用し、養蚕で栄えた町の歴史から「繭最中（まゆもなか）」と命名。

Data 静岡県 松崎町（まつざきちょう）

団体名▶企業組合　であい村　蔵ら
所在地▶〒410-3611 静岡県賀茂郡松崎町松崎319-1
連絡先▶TEL：0558-42-0100　FAX：0558-42-0100
【交通のご案内】
自動車▶東名高速道路沼津IC／新東名高速道路長泉沼津ICより１時間40分
鉄　道▶東海道新幹線を利用
　　三島駅から修善寺駅（伊豆箱根鉄道駿豆線）で35分
　　修善寺駅からバスで１時間40分
　　伊豆急行線を利用
　　伊豆急下田駅からバスで50分



国勢調査人口　（単位：人）

市町村名	昭和35年	昭和55年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
松崎町	12,183	10,013	8,515	8,104	7,653	6,837

人口増減率　（単位：%）

市町村名	H27/S35	H27/S55	H27/H12	H27/H17	H27/H22
松崎町	-43.9	-31.7	-19.7	-15.6	-10.7

高齢者・若年者比率(H27年)　（単位：%）

市町村名	高齢者比率	若年者比率
松崎町	43.2	9.2